

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 20号)

2022年 3月24日発行
兵庫のり研究所

海域東部では、小型珪藻のスケルトネマが散見されますが、発生量は少ない状況です。海域西部では、スケルトネマ・リゾソレニア等の珪藻類がやや多く確認されました。窒素は、明石海峡部で $3 \mu\text{g-at/L}$ 台、漁場地先では、陸水等の影響もあり概ね $3 \sim 5 \mu\text{g-at/L}$ 台、漁場沖筋では、明石海峡部の海水の影響が見られる東部で概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台、西部で $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均 9.8°C 。昨年比 1.2°C 、平年比 0.6°C ともに低い。(塩分) 平均 31.65psu 。前回(31.86)より約 0.2psu 低い。
(栄養塩、珪藻) 海域西部では、小型珪藻のスケルトネマが前回(3/20)調査と比較して増加していたが、細胞の色素は薄く活力は低いと思われる。海域東部では、珪藻類はほとんど確認されない。3月18~19日(40.5mm)と22~23日(14.5mm)の降雨(地点:明石)により、地先と東部沖筋の栄養塩は上昇しているが、西部沖筋では大きく変化していない。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.9	9.8	10.4	11.0
窒素	2.5	3.0	2.9	2.8
リン	0.37	0.29	0.27	0.33

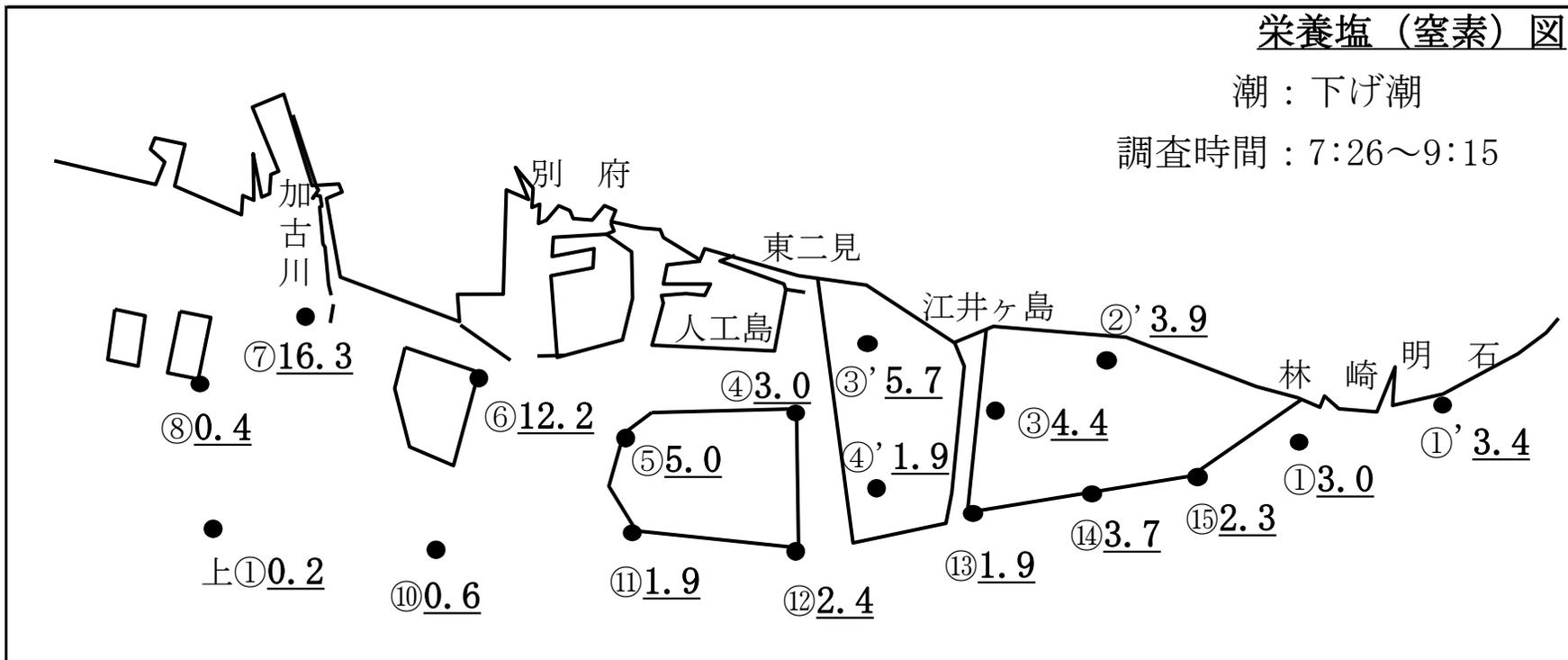
(3/20) ※窒素の平均は別府を除く (3/24)

2022年 3月24日調査

栄養塩(窒素) 図

潮: 下げ潮

調査時間: 7:26~9:15



水温図

